

インターンシップ事後報告

株式会社ユタカ

産業マネジメント学科 グループ6

目次

1. 目的

2. 実習内容・概要

3. 実習成果

- ① 製造業のイメージ
- ② 社長インタビュー
- ③ 従業員インタビュー
- ④ ジョブシャドウイング
- ⑤ 働くことについて

4. 今後

- ① 学生生活にどう生かすか
- ② 就職活動にどう生かすか

目的

- 社会に出て「働く」ということについて考え、明確にする
- 製造業はふだんかかわりのない業種のため、理解していない部分が多くある。そのため、インターンシップに行きその理解していない部分や自分たちの持つイメージを確かめる
 - 技術力が高い精密加工
 - 女性社員が少ない
 - 個々で黙々と作業をしており横のつながりが少ない
 - 理系分野で自分たちとあまりかかわりのない
- インターンシップにおいて「理系分野」から物事を考えたり知識や経験を得ることで今後の学習や就職活動のために役立てる

会社概要

- 株式会社ユタカ（実習期間：8月8日～9日）

- 業種：製造業

- 創立：昭和56年12月

- 従業員数：142名

- 事業内容：半導体、電子部品、航空宇宙、食品、医療業界などに関わる精密加工部品金型製作

- 経営理念：「豊かさの追求」

心が豊かであれば、人生は素晴らしい。心に想うこと、それが自ずともものづくりにも表れてくる。心が豊かでなければ、時代を動かし、人の心を動かすようなものづくりはできない。

実習内容

1日目（8月8日）

- 企業概要説明
- 社長インタビュー
- 従業員インタビュー
 - 営業課：松浦さん
 - 製造課：大地さん、丸山さん、角田さん
 - 管理部：浅川さん

2日目（8月9日）

- ジョブシャドウウィング
 - 男性は製造課、品質検査へ
 - 女性は営業部、品質管理部へ

実習成果1：社長インタビュー

SWOT分析

強み (Strengths)

- 精密加工
- プログラム力
- 設備力
- 難易度の高い高精度部品製造
- 徹底した品質管理

弱み (Weaknesses)

- 品質管理へのクレーム
- 高リスク
- 一回失敗すると初めからやり直し

機会 (Opportunities)

- 松山の物価が安い
- 人件費が安い

脅威 (Threats)

- 99%が県外の客
- インフラが整っていないため配送が不便

実習成果2：従業員インタビュー

営業課、製造課、管理部の方へのインタビューを通して・・・

●人と人とのつながり

- コミュニケーションの重要性
- あいさつを習慣づける
- 些細な事でも報告する

●見聞を広げる

- 新聞を読む
- 様々な人とかかわりを持つ

実習成果3：ジョブシャドウイング

- インタビューで得た内容をジョブシャドウイングを通して再確認
- 人と人とのつながり
 - 普段からコミュニケーションを取っておくことで、大きなミスを防ぐ
 - 小さなことでもホウレンソウを心掛ける
 - 掲示板を活用し従業員全体で情報を共有する
- 臨機応変に対応することで仕事を円滑に進めることができる（営業部・品質管理部）
- 品質管理を徹底することで信頼構築につながる（品質検査）
- 個人の裁量が大きく多くの製造過程に携わっている
→ 責任感（製造課）

実習を通じて：まとめ

●社長インタビュー

- 経営環境、差別化、人材育成、将来のビジョン

●従業員インタビュー

- コミュニケーションの重要性

- 目標を持つ

- 目標に向かって失敗を恐れず挑戦する
- やりがいにつながる

- 責任を持つ

- 自分で考えて行動する
- アルバイトとの違い

●ジョブシャドウイング

- イメージの変化

- 女性社員も製造課や品質管理などで幅広く活躍していた
- 製造部だけでなく他の部とも連携をとっていた
- 理系分野の企業でも文系の人たちが多く働いていた

- 社員からのインタビュー内容の確認

学生生活にどう生かすか

●講義科目

- 新聞、本、ニュースなどから広く知識を得て、講義の知識に応用する
- 専門知識を深める

●グループワーク型授業

- 異なる役割同士でも情報交換を怠らない
- 今までのグループワークはきちんと役割分担をしていなかったため、ひとりひとり役割をもたせ責任感を担えるような活動にする

就職活動にどう生かすか

- 製造業は選択肢になかったが、理系分野でも文系の人活躍していることが分かり、選択の幅が広がった
- 業種で就職先を選ばず、建設業、鉱業、農林水産業、運輸業など今までよく理解していなかった業種にも積極的に関わっていく